2023-24 Weekly Report

Rotary

District 2770 ROTARY INTERNATIONAL

THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA-NORTH

第 2770 地区　第 8 グループ　越谷北ロータリークラブ

世界に希望を生み出そう

2023-24 年度国際ロータリーテーマ　「世界に希望を生み出そう」　RI 会長 ゴードン R. マッキナリー

2023-24 年度越谷北 RC 会長提言　「奉仕の心でつなぐ希望の輪」　越谷北 RC 会長　大濱　裕広

- 例会日　毎週水曜日　12：30～13：30
- 例会場　越谷市千間台東インペリアルビル 4 階
  ＴＥＬ　048（975）9898
  ＦＡＸ　048（977）3741
- 創　立　1976 年 5 月 11 日

- 会　　長　大濱　裕広
- 副 会 長　小宮山　大介
- 幹　　事　市川　洋和
- 会報委員長　近藤　慎悟

第 2293 回　例会記録　No. 7

令和 5 年 8 月 30 日

司会：宮﨑　敏博　　編集：近藤　慎悟

会次第

1. 点鐘
2. ロータリーソング　「手に手つないで」
3. ロータリアンの行動規範
4. お客様紹介

   米山記念奨学生　倪　楓苹　様
5. 会長挨拶
6. 幹事報告
7. お客様挨拶
8. 部門セミナー報告

   会員増強維持部門　今井　英治　委員長

   IT 推進委員会　近藤　慎悟　委員長

   管理運営部門　小宮山　大介　部門委員長

   公共イメージ部門　長谷川　真也　部門委員長

   米山記念奨学部門　吉田　実　委員長

   青少年奉仕部門　渡辺　裕介　委員長
9. 出席報告

【次回例会案内】

令和 5 年 9 月 13 日（水）

クラブビジョン・戦略計画唱和

3 分間ロータリー情報

会員卓話 ： 松﨑　義一　会員

会長挨拶

大濱　裕広　会長

改めまして、皆様こんにちは

本日も暑い中、例会にご出席いただき、ありがとうございます。

本日は 7 月 8 月に開催されました、会員増強部門、IT 委員会、管理運営部門、公共イメージ部門、青少年奉仕部門、米山記念奨学部門の各セミナーの報告を委員長の皆様にお願いしておりますので、会長挨拶は少し短めにさせて頂きます。

また、お忙しい中、各部門セミナーに出席いただきました各委員長の皆様、大変お疲れ様でした。本年度、第 2770 地区梨本ガバナーの各部門の方針を皆様に理解していただき、それを当クラブの事業に反映していただきたいと思います。会員の皆様も本日の報告にてご理解、ご協力をお願いいたします。

それでは、会長卓話とさせていただきます。

本日は、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会についての話をいたします。

ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支援する民間の奨学団体です。

本年度は楓ちゃん、昨年度は先週の例会に出席いただいた王君、その前は陳詩楽さん、ドリスさんと、皆様の記憶にも残っているかと思います。

彼らは将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な学生を奨学することを目的としています。優秀とは、学業に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、異文化理解やコミュニケーション能力への意欲や能力に優れている方が選考されております。

ロータリー米山奨学生は、ロータリークラブを通じて日本の文化、習慣などに触れ社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理解とする国際平和の創造と維持に貢献する人となることが期待されています。

米山奨学金には、奨学生による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。

例会への出席、各事業、親睦行事への出席でロータリーの会員との交流による国際交流、相互理解を深めると共にロータリーの奉仕の心を学びます。

様々な職業、世代で構成されるロータリークラブの交流は奨学生が日本文化に接しご自身の将来や奉仕について考える機会となります。

米山奨学生とロータリアンの交流は相互理解のみならず、双方にとっても財産となるものです。

本日、米山奨学部門セミナー報告で吉田委員長からお話があると思いますが、セミナーに参加いたしまして、奨学生の皆さんのお話を聞いていますと、改めてロータリークラブの支援は国際社会にとって、とても素晴らしいことをしていると感じますし、異国の地から来た彼らは、たくさんのことをロータリアンと交流することで学ぶことができます。

長島年度の奨学生の趙珉秀君は今、結婚し、不動産の会社を経営して日本で頑張っておられます。又、大熊年度の奨学生の常安琪さんは、会員だった木村さんの紹介でハーゲンダッツのパッケージを作っている会社に勤めて、世界を飛び回って活躍しております。

多くの卒業した奨学生が社会人になり元気に日本で活躍し、日本と世界の架け橋となっております。

そのような活動はロータリー会員お一人お一人の寄付金によるものです。本年度の当クラブ米山記念奨学委員会の活動計画書には一人当たり 25,000 円以上の寄付をお願いしております。

皆様のご寄付のご協力そしてご理解をお願いいたします。そして、夢と希望ある奨学生の皆さんに少しでもその実現に向けたお手伝いができることにロータリーの素晴らしさを改めて実感いたします。

本日の卓話を終わります。

幹事報告

市川　洋和　幹事

（地区より）

・秋田県豪雨災害支援金ご協力のお願いが来ております。こちらは次回理事会にて審議されますので、宜しくお願いします。

・地区大会記念ポリオ&ウクライナ支援チャリティーゴルフコンペのご案内が来ております。日時は10月2日月曜日場所は栃木県のプレステージカントリークラブで行います。詳細などにつきましては市川までご連絡下さい。

（クラブより）

・本日杉山さんと伊丹さんにお給料がでております。いつもクラブの為にありがとうございます。

お客様挨拶

米山記念奨学生　倪　楓苹　様

お疲れ様です。先週の土曜日、伊丹さんと一緒に南越谷の阿波踊りに行きました。そこでは、長谷川さんから大変すばらしい席を案内して頂きました。本当にありがとございます。すばらしい写真を沢山撮りました。

そして、日曜日は米山記念奨学部門のセミナーでした。大濱会長と吉田さんと黒田さん、お忙しいところわざわざ来て頂いてありがとございます。

部門セミナー報告

会員増強維持部門　今井　英治　委員長

先月、開催されました 3 部門 1 委員会合同セミナーの分科会、会員増強維持部門の研修内容をご報告させて頂きます。

次年度会員増強維持部門担当諮問・パストガバナーの中里公造さんからお話し頂きました内容になりますが、宜しくお願い致します。

現在 2770 地区では、全部で 72 クラブあります。2021-22 年度の 6 月末時点で会員数 2,319 人でした。2022 年 7 月から 2023 年の 2 月時点で、8 名増員で、2,327 人（内女性会員 211 名）となっております。コロナ渦の影響もあり、2018-19 年度には、増減数マイナス 35 名、2019-20 年度には、増減数マイナス 96 名、2020-21 年度には増減数マイナス 77 名、2021-22 年度には増減数マイナス 4 名となってしまいました。この 4 年間で、マイナス 212 名と、とても残念な結果となってしまいました。

2023 年度 6 月末時点での内訳は、純増 1 名以上のクラブは 18 クラブ、純減 1 名以上のクラブは 43 クラブ増減なしのクラブは 23 クラブでした。残念ながらクラブ解散は 2 クラブ出てしまいました。

この様な大変な時期でも確実に会員増強を頑張ったクラブが 2 クラブありました。

・八潮クラブ　33 名　→　42 名　9 名純増
・大宮東クラブ　37 名　→　43 名　6 名純増

との発表がありました。

この 2 クラブの増強維持委員長より、増強のお話を聞いたところ、「夜間例会の回数を増やし、夜の飲み会　コミュニケーションの場を増やした」、「オブザーバーをゴルフコンペに招待して楽しんでもらった」、「各会員の仕事繋がりや趣味繋がりのオブザーバーを積極的に、声がけしコミュニケーションの場を増やし会員獲得した」と発表がありました。

中里諮問曰く、会員数減少により 1 会員が 3 つも 4 つも委員会に入っている状況では、委員会活動の内容が薄くなってしまうため、1 会員 2 委員会程度がちょうど良いと思うとのことでした。クラブの会員数に見合った委員会構成で、無理しなくても良いとの事と、会員数の少ないクラブは合併も視野に入れ、そこで増員を頑張ってもらっても良いとの事でした。

全国のクラブ会員数の平均が、38 名。2770 地区埼玉南東では、平均会員数 31.8 名。全国のクラブで 30 位。20 名以下のクラブが、72 クラブ中 20 クラブになってしまったとの事でした。

まず、力を入れて頂きたいのが、40 歳未満の会員を獲得、女性会員を増やすと共に女性会員の入会しやすい環境つくりに努めてくださいとの事でした。

会員獲得の事例が、色々と出ていました。

・例会のプログラムの中に、仕事に役立つ内容の卓話を盛り込む。
・今の若い世代は、仕事の繋がりを好むので、仕事繋がりのオブザーバーを沢山呼ぶようにした。
・いきなり例会場にオブザーバーでは、呼ばず同好会や経営者勉強会等のイベントを開催し若手を集めロータリークラブの魅力を発信する。
・銀行・証券会社・保険会社等の企業へのアプローチに力を入れる。
・議員さんの人脈を使って、企業の紹介をもらう。

また、地区の同好会等も大いに活用して下さいとの事でした。地区同好会には、ワイン同好会・アウトドア同好会・ダイビング同好会があります。 今後は、女性会員のみの女性同好会なども考えているそうです。

最後に、私が思うには、まずは自分が楽しいと思える事が一番大切だと思います。楽しいクラブ活動に、楽しい環境造り、仕事の繋がりや人脈造りが出来るような部会・異業種懇親会などを取り入れ、より多くのオブザーバー会員を迎え入れられると、より多くの会員増強が出来ると思いました。また会員維持にも繋がると思いました。

短時間で、話まとまらずですが、会員増強維持部門セミナーの発表を終わります。皆様、1 会員 1 オブザーバーのご紹介を何卒、宜しくお願い致します。

IT 推進委員会　近藤　慎悟　委員長

IT 推進委員会の報告を行います。7 月 23 日（日）大宮ソニックシティの分科会で行われました。

IT 推進室推進委員会はクラブのデジタル化への助力と協力、地区事業のデジタル化の推進、セキュリティ向上を行っています。本年度はさいたま中央 RC の木林さんが委員長を務めています。

本年度の取組としては、会員向けの内容ではなく事務局向けのものとなっています。各クラブからの情報・やり取りをアナログからデジタルへの変更、地区事務所ではクラウド化を行い、情報を管理するようです。これを行うことにより事務コストの低減、ヒューマンエラーの発生を防ぐこととしています。

また、こちらは公共イメージとも若干被りますが、IT 推進委員会により昨年度より地区の公式 LINE が作成されました。現在、LINE を管理しているのは公共イメージ委員会ではなく IT 推進委員会となっています。こちらは公共イメージ部門と連携し、PETS 以降、公式 LINE の説明を公共イメージ部門が行っています。今の配信内容ですが、部門セミナー後のガバナーの挨拶や公共イメージ部門が手掛けている未来のとびら「クラブダイジェスト」の告知等が行われています。

管理運営部門　小宮山　大介　部門委員長

会員組織部門委員長として参加をして来ました。当クラブでは会員組織部門となっていますが、地区の組織では管理運営部門となっています。少しずつ地区と我がクラブの組織の在り方に違いが生じている気がします。

講演では都内ロータリークラブ会員のロータリーにおける DEI に関するお話でした。

（ロータリークラブにおける DEI）

Diversity　　多様性ある会員組織

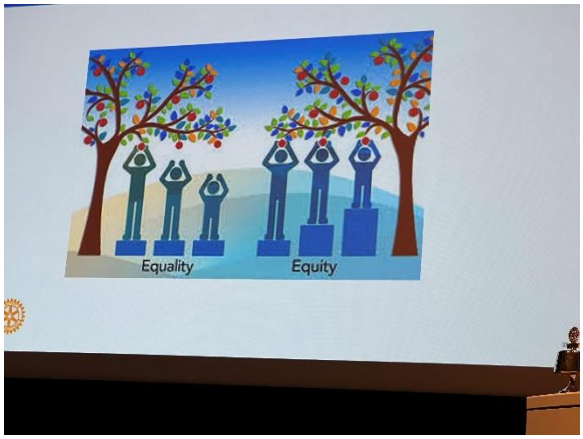
ロータリーはあらゆる背景を持つ人や幅広い文化、経験、アイデンティティーの人を歓迎します。

Equity　誰もが公平に大切にされる

ロータリーはクラブ会員の公平な扱いと機会の均等を保つように努めています。

Inclusion　誰もが受け入れられている

ロータリーはあらゆる人が歓迎されていると感じ、尊重され、会員として大切にされるクラブの環境作りに力を注いでいます。



印象的だったのはこちらのスライドです。

Equality と Equity の違いです。Equally は言葉の如く平等。Equity は通常経済用語で資本と訳され(株主資本利益率)Return on Equity などで使われます。また公平性という意味合いを持ち、ロータリーでは個々の人に合わせた支援を行って公平な土台を作ること、と捉えるそうです。

動が重要となります。そのために、本年度はマスメディアとロータリーとの連携を進めます。

そして、公共イメージの向上は、会員増強、パートナーシップの拡大、ファンドレイジング、奉仕活動への参加向上につながる大切な取り組みで、ロータリー戦略計画の目標を支えるという重要な目的をもちます。主役はロータリアン一人一人、そして、各クラブです。

※DEI 推進委員会として、地区、クラブの基盤整備、活性化の為、ガバナー補佐との連携及び情報交換を積極的にお願い致します。

〇公共イメージ向上委員会

クラブ、地区活動、2770 地区、ロータリーのプレゼンス向上を図る。マスメディアと地区、クラブとの連携を模索する。クラブや地区の活動をマスメディアに紹介し、露出の機会を増やす。報道機関、行政機関、地域のリーダー、一般の方にロータリー活動を正しく伝える。公共イメージの重要性をクラブに紹介し活動を奨励する。ソーシャルメディアを利用する。地区ホームページの活用方法を検討する。ロータリークラブのロゴの正しい使用を指導、推進する。各クラブ、ポリオデー(週間)で奉仕活動実施(活動記録を編集し地区大会にて報告）。マスコミとの懇談会開催。ガバナー月信との情報共有。クラブ HP の運用促進(更新について・フェイスブック・週報掲載）。会員増強用パンフレット作成。

公共イメージ部門　長谷川　真也　委員長

米山記念奨学部門　吉田　実　委員長

〇公共イメージ部門

ロータリーのブランド向上の為には、効果的な広報活

米山記念奨学委員会の委員長をさせていただいております。吉田です。8/27 に川口駅前市民ホールフレンデ

ィアで行われた米山記念奨学部門セミナーに大濱会長、黒田カウンセラーと私で行ってきました。

まず、米山奨学事業の概要の説明があり、日本全国34 地区の合同活動であり、公益財団法人を設立し運営していて、外国人留学生の支援をして、世話クラブ・カウンセラー制度で交流を重視していると説明がありました。

また、国内最大級の奨学生数であり 2022 年度は898 人、累計 129 の国と地域で 22,875 人です。事業のはじまりと国際ロータリーと米山との関係の説明の後、年間の事業の予定として入学式、春のバス旅行、富士登山、学友による世界大会、合同奉仕活動、地区大会、次年度奨学生の面接、修了式、次年度の奨学生の入学式、春のバス旅行などの予定が発表されました。

次にクラブの会長と委員長へのお願いとして特別寄付をなるべくしてほしいということと、奨学生とロータリアンとの相互理解を深めるために奨学生による例会での卓話の機会をつくってほしいとのことです。ハラスメント問題の取り組みとして相手が不快と思ったらハラスメントなので、セクハラ、パワハラなどは特に注意してくださいと言っておりました。

次に寄付金についての話で 2770 地区は平均寄付額が全国で 3 位なので 2 位になるために節税にもなる法人寄付を進めていました。

講演は米山親善大使としてチュニジア出身のイメンジェブリさんという女性が、米山奨学生として自分も成長できた体験をもとに、親善大使として、奨学生の良さをこれからも後輩達に伝えていきたいと話していました。

青少年奉仕部門　渡辺　裕介　委員長

まず初めに、インターアクトクラブ（Interact Club、IAC、IC）は、ロータリークラブにより提唱された、12 歳から 18 歳までの青少年または高校生のための社会奉仕クラブである。日本においては、高等学校の福祉・ボランティア系のクラブ活動（部活動）・サークルとしておかれることが一般的であるが、高校に属さない「地域クラブ」として活動するクラブもある。

奉仕の精神と国際理解を青少年（新世代）に付与するため設立され、提唱クラブは、指導・助言・監督の責任をもっている。同趣旨で、18 歳から 30 歳の若人のためのプログラムとして、ローターアクトクラブがある。両アクトは、ロータリー直営の青少年奉仕活動プログラムである。

国際ロータリー(Rotary International)の承認のもと

1.建設的な指導力を養成し、自己の完成を図る。
2.他人へ対する思いやりと、他人の力になる心構えの奨励と実践。
3.家庭と家族の重要性の認識と涵養。
4.各自の責任を果たし、懸命に努力する。
5.全ての有用な職業は社会に奉仕する機会であるとしてその品位と価値を自覚する。
6.地域社会、国家及び世界の問題についての知識と理解を深める。
7.国際理解と親善の推進。等を行う

ローターアクトクラブ（英: Rotaract Club）は、18 歳以上の青年男女のための、ロータリークラブが提唱する奉仕クラブ。 以前は 30 歳までの年齢制限があったが、2019 年 10 月の国際ロータリー理事会により年齢制限が撤廃されている。クラブによっては、年齢制限を設定しているクラブもある。 ローターアクトクラブは通常、地域社会または大学を基盤としており、地元のロータリークラブが提唱している。

ローターアクトの目的は、青年男女が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的なニーズと取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々のあいだ

によりよい信頼関係を推進するための機会を提供することにある。

1.専門技術及び指導能力を開発すること
2.他人の権利を尊重する観念を養い、あらゆる有用な職業の道徳的水準及び品位を保持し推進すること。
3.若い人々に地域社会をはじめ世界社会のニーズ及び懸念事項を提起する機会を提供すること。
4.提唱ロータリークラブと協力して活動に当たる機会を提供すること。
5.ロータリーにおける将来の会員として若い人々の意欲を喚起すること。

〇私の見解

2019 年までは、

・インターアクトクラブ⇒奉仕活動など様々な経験をして自分を見つける。18 歳で終了。
・ローターアクトクラブ⇒自分自身で見つけた専門的なスキルと行動力による。リーダーシップを育みながら奉仕活動する　30 歳で終了

いずれもスポンサーはロータリークラブが支援・指導をする。その後　ロータリアンとしてその力を発揮する。

2020 年度以降、ローターアクトは自立を目指し頑張っている現状にあります。※学ぶだけではなくロータリーは青少年指導者も育成しています。(RYLA)ライラ。

全ての活動において　奉仕を通じての親睦(FELLOWSHIP　THROUGH　SERVICE)の心を忘れず頑張っていきたいと思います。

スマイル報告

・本日も宜しくお願いします。部門セミナー報告、宜しくお願いします。

大濱　裕広

・お客様ようこそ。本日社会奉仕委員会および青少年奉仕委員会の開催ありがとうございました。

市川　洋和

・部門セミナー報告よろしくお願い致します。

江口　公晴

・毎日あついですね。

青木　清

・南越谷阿波踊り開催にあたり、事故・事件等大きな問題なく無事に終了できホッとしています。

関森　初義

・今夜から夏休みをいただき旅に出てきます。

小宮山　大介

・世界平和の為に!

堀野　眞孝

・世界平和のために。

中澤　伸浩

・本日宜しくお願いします。

松井　昭夫

・本日も宜しく御願いします。

髙橋　忠克

・本日も例会宜しくお願いいたします。

中村　隆雄

・本日も宜しくお願い致します。

伊藤　純

出席報告

会員数	40 名
出席者	36 名
出席率	94.7 %

(名司会)　宮﨑　敏博　会員

本日は宮﨑会員が司会のなんたるかを見せました。